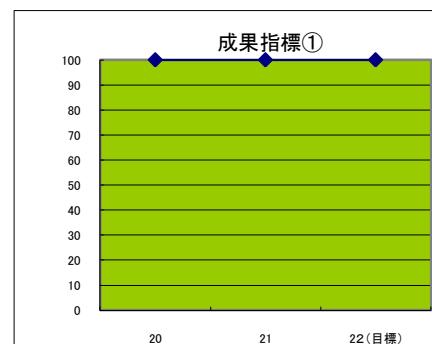
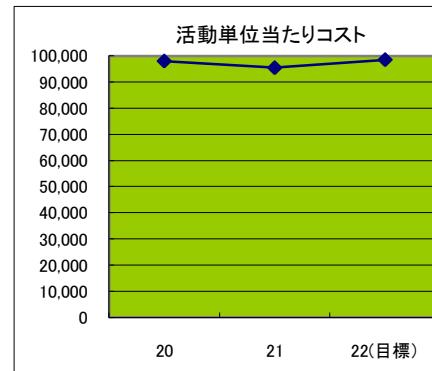


## 平成 22 年度 事務事業評価シート(平成 21 年度実施事業)

整理番号 土維02

事務事業名	道路維持管理業務			予算科目	会計	一般会計	
総合基本計画 まちづくりの目標(章) 施策(節) 施策の方向 関連する計画等	1 安全・安心、快適で住みやすいまち 9 道路交通 (2) 計画的な道路整備と維持管理の推進	款	8 土木費				
		項	1 土木管理費				
		目	2 維持管理費				
		事業	1 維持管理				
		作成部署	土木部維持管理課				
事業の目的	対象(誰を・何を)	連絡先	072 - 958 - 1111 内線 2910				
事業の目的	市道						
意図(どういう状態にしたいのか)							
維持(補修等)を行うことにより、安全な道路の通行を確保する。							
事業の内容	①道路維持管理に関する苦情等の対応 ②道路施設修繕(舗装・補修・側溝補修) ③街路樹植栽管理・樹木剪定・害虫駆除及び道路植樹帯等の草刈り ④道路パトロール ⑤道路清掃						
根拠法令等	道路法						
事業開始時期	<input checked="" type="checkbox"/> 昭和 52 年開始 <input type="checkbox"/> 明確にはわからない <input type="checkbox"/> 平成 <input type="checkbox"/> 市制施行(昭和34年)以前より行っている			終了年度	平成 年度		
事業開始時からの状況変化	道路施設の老朽化が進んでいる。						
市民や議会の要望	安全で安心して通行できる道路の確保への要望が非常に高い。						
実施手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助金・助成金 <input type="checkbox"/> その他()						
委託先	<input checked="" type="checkbox"/> 市外郭団体委託 名称(シルバー人材センター) <input checked="" type="checkbox"/> 民間委託			委託内容	清掃・樹木剪定・植栽管理業務等		

区分		20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込み)
事業費【1】		19, 212	18, 222	21, 912
人件費【2】		24, 810	27, 780	23, 430
職員数	正規職員	2.80 人	2.90 人	2.40 人
	再任用職員	0.90 人	0.90 人	0.70 人
	嘱託職員	0.80 人	1.05 人	1.05 人
	臨時職員	0.00 人	0.90 人	0.80 人
	超過勤務(参考)	0.00 時間	0.00 時間	0.00 時間
総事業費(【1】+【2】)【A】(千円)		44, 022	46, 002	45, 342
財源内訳	国費			
	府費			
	市債			
	その他(手数料・使用料等)			
	一般財源	44, 022	46, 002	45, 342
活動指標(事業の活動実績)【B】		単位	20年度	21年度
① 作業実施件数		件	449	482
② 依頼(苦情)受付件数		件	337	348
③ 自主作業件数		件	112	134
活動単位当たりコスト(【A】/【B】①)		98, 045 円	95, 440 円	98, 570 円
市民1人当たりコスト(【A】/人口)		368 円	387 円	381 円



成果指標 (事業目的の達成度を測る指標)	指標名		指標設定の考え方 緊急性や依頼内容等により優先順位を決め適正に実施・処理した件数。	平成20年度		平成21年度		平成22年度	
	① (式)	作業実施率		目標	100	100	達成率(%)	100	
				実績	100	100	100.0%		
	② (式)			目標			達成率(%)		
				実績					

市の 関 与 の 必 要 性	市の関与が必要な理由									評価	
	1 法令上 の義務	2 受益者 が不特 定多数	3 最低限 の生活 水準を 確保	4 市民の 不安を 解消	5 社会的 経済的 弱者を 対象	6 民間だ けでは 負担しき れない	7 民間だ けでは 供給不 足	8 市の特 色等を 市内外 へ発信	9 第三者 にも受 益があ る	必要性	分析・評価の説明
	○	○		○							

視点	分析のためのチェック点	はい	いいえ	該当 なし	分析・評価の説明
妥当性	市民ニーズが高い	✓	□	□	道路施設等の破損箇所を日常パトロールにより早期発見・市民からの通報等により補修等を迅速に処理することは、施設を適正に管理を行う上において必要不可欠な業務である。
	市民ニーズに比較してサービスの供給過剰となっていない	✓	□	□	
	社会情勢の変化に対応している	✓	□	□	
	他市の水準と比較しても、対象範囲や水準を見直す必要がない	✓	□	□	
	国・府の事業と重複していない	✓	□	□	
	事業を休止、廃止した場合の影響度が大きい	✓	□	□	
	緊急性が認められる	✓	□	□	
効率性	単位コストが適切である(経年、他市比較など)	✓	□	□	簡易な補修等は職員で迅速に行い、大きな補修は外部に委託することにより、経費の節減に努めている。 今後、民間への業務委託を拡大することにより、さらなる事務処理の効率化と経費の削減を図ることが可能と考える。
	受益者負担の割合は適当である	□	□	✓	
	人員を削減する余地がない	✓	□	□	
	事業費を削減する余地がない	✓	□	□	
	簡略化できる方法や手段がない	□	✓	□	
	市の他事業と重複していない	✓	□	□	
	民間活力(民間委託、NPO、ボランティア、PFIなど)の活用について検討の余地がない	□	✓	□	
有効性	上位の施策(目的)が明確である	✓	□	□	迅速な対応により安全で、快適で適正な道路機能の確保に有効な事務事業である。
	上位の施策(目的)への貢献度が高い事業である	✓	□	□	
	成果を向上させる余地がない	✓	□	□	
	市民の視点にたってサービスが提供されている	✓	□	□	
協働性	事業の企画、立案に市民が参加している	□	□	✓	道路側溝の清掃については、地元住民の協力を得て実施している。
	事業の実施に向けて、市民と情報の共有が図られている	□	□	✓	
	事業の実施について積極的に市民の意見を反映している	✓	□	□	
	事業の実施に市民の参加、協力が得られている	✓	□	□	
達成度	成果指標の目標値は適正である	✓	□	□	依頼・苦情等に対しては、全て迅速に対応している。
	成果指標の実績値は目標値以上である	✓	□	□	
	成果指標は前年度より向上している	✓	□	□	

担当部局評価	総合評価
	<input type="checkbox"/> 拡大・充実 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 方法改善 <input type="checkbox"/> 民営化・民間委託 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 完了
	評価の理由
	生活基盤である道路を、適正に維持管理することは重要であり、最低限度の行為である。その為に迅速な対応を行う本事務事業は必要不可欠である。
今後に向けて(取組方針、具体的な改善改革案など)	
①より迅速な補修、修繕を実施する為、道路パトロール等の監視体制の強化を図る。 ②民間への委託業務の拡大を実施し、道路の効率的な維持管理に努める。	

